



# 常に納期通りに出荷 ケーススタディ

**CCTY**  
B E A R I N G

[CCTY ベアリング](#)は高品質なベアリング製品を設計、製造、開発するベアリング製造メーカーです。

「他のサプライヤーが納期の遵守に苦勞しているとき、当社の部品を配送することができました。」

-フォークリフト購買マネージャー

## エグゼクティブサマリー

国際港湾倉庫労働者組合(ILWU)と港湾労働者の契約交渉が決裂したとき、彼らは作業をストップし、その後ストライキへと発展しました。その結果、コンテナは数週間にわたって海上に放置されました。

CCTY ベアリングは交渉の経過を注意深く監視し、ストライキの数週間前に別の手段を利用して積荷の配送を開始しました。その先を見越した判断により、顧客はスケジュール通り、生産ラインを維持することができました。追加の運送料が発生することはありませんでした。

## 問題

西海岸の 29 ヶ所の港湾と 20,000 人の作業員の 6 年間の契約が終了したとき、休暇の時期にも重なって出荷シーズンがピークを迎えていました。西海岸全体の港湾で作業の量を抑えていました。コンテナの積荷は海上で伝票を待っているか、ゆっくりと荷卸しされるかのいずれかでした。

CCTY は交渉中であることを知り、配送状況の追跡を続け、港湾からの配送にかかる時間が 2 倍長くなっていることがわかりました。

CCTY の顧客の大部分はジャストインタイムで納品を行っています。時間通り納品しなければ、顧客は在庫を補充できず、安全在庫を消費する危険がありました。

## 解決策

時間は重要であるため、CCTY ベアリングはストライキの数週間前からすべてのコンテナの積荷についてバンクーバー経由での配送を開始しました。また、旅費の増加分を考慮するために社内 ERP システムを更新し、顧客が注文を出した場合、妥当な自社配送の日付で見積もりました。顧客の安全在庫が予定された MRP の実行前に発注点に達した場合、十分な入替レベルを確保するために CCTY の倉庫がチームのメンバーに警告を出しました。

バンクーバー港の利用を開始するメーカーの数が増えたため、鉄道輸送の限界の問題が発生しました。顧客の在庫の大部分は処理オーバーが発生する前に既に輸送中であったため、CCTY ベアリングが空路で出荷する部品はわずかな量でした。

## 結果

長期にわたった港湾労働者の契約が締結されたあと 1 ヶ月以内に、CCTY ベアリングの出荷はすべてスケジュール通りこの港湾を経由した元の状態に戻りました。これは輸送方法の代替についてモニタリングを継続していた結果です。

最終的に、CCTY のソリューションは以下を証明しました。

- 即時性
- 先を見据えた思考。クライアントは予定通り生産ラインを維持
- 費用対効果。顧客に追加の空輸料金は未発生

「積荷の状況を監視し、納品が困難な状況になる前に複数の輸送手段を利用してルート変更をすることができました。結果として、当社の顧客は安心して期日通りに納品することができました。」

トレイシー・フリッツ  
経理担当役員